

発展途上国の政治と社会

PRESENTATION

アフリカの政治と社会

はじめに

- アフリカといえば
- 貧困問題
- なぜなくなるのか？
- 援助不足？
- 過去の植民地支配の遺制か？
- それとも・・・？



国家の定義とアフリカ諸国

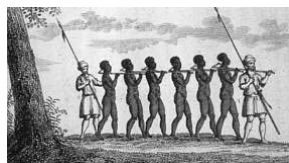
- ウェーバーの定義
 - 合法的な暴力行使の独占を要求する人間共同体
- アフリカにそのまま適用できるか？
 - 国家に対する人々の意識とは？
 - ○○人、○○国民、という意識は低い
- 1960年前後によく独立した

歴史をたどる一暗黒大陸アフリカ？

- 文明なき未開社会？
- 閉鎖的で野蛮？
- 創られたイメージ⇒植民地主義
 - ヨーロッパによる植民地支配を正当化する言説
- 歴史がない？⇒文字による記録がなかったことが原因

奴隷貿易と植民地支配

- 17～18世紀に最盛期を迎えた奴隷貿易
- ヨーロッパからアフリカへ
 - 銃・酒・布が輸入
- アフリカからヨーロッパへ
 - 奴隷が輸出
- 19世紀から20世紀半ばまでの植民地支配
- 人種差別・キリスト教文化の外にあることからの「未開」イメージ



アフリカ社会の植民地化

- 奴隷供給地から工業化を支える原料供給地へ
- アフリカにおける領土の境界線が画定
- 国境線の画定により民族構成が複雑化
- 間接統治・分割統治によって後の民族問題の種がまかれた



独立運動

- 19世紀に存在した独立運動
- アフリカ・ナショナリズム
- パン・アフリカ運動
- ンクルマ(ガーナ)
- 社会主義による国民国家の建設
路線を選ぶ⇒一党独裁へ



アフリカの国家建設

- アフリカ合衆国構想⇒頓挫
- アフリカ統一機構(OAU)
- 「植民地主義者が大陸を分割して作ったぶざまな加工品から、真のネーションを創り出すこと」をめざす



国家建設の困難

- 国民統合の現実、特定の地域・民族集団が他の集団を支配したことだった
- 軍事クーデターの繰り返し
- 軍政・一党支配により混乱を収拾
- 秩序維持のため権威主義的な政治体制が正当化される



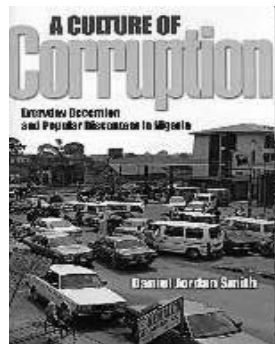
開発独裁とその理解

- 開発独裁—経済開発において、国家がその牽引車の役割を期待される
- 一党支配・軍事政権は腐敗と政治的不安定の温床に
- アフリカの民主化には経済発展が必要という見方で理解された(Huntingtonの近代化論)



汚職・腐敗の実態

- 公務員・警察官が賄賂を要求
- 公立学校の教員や公的医療機関の医師の欠勤
- ビジネスの許認可制を利用して手続きを複雑化し、汚職の手段にする
 - 営業免許の更新に賄賂
 - 電話回線の開設に賄賂
- 公務員であることが利権になる



アフリカの社会主義

- エチオピア、コンゴ、ベナン、アンゴラ、モザンビークではマルクス・レーニン主義が国家教義
- ニエレレ(タンザニア)がアフリカ社会主義を制度化
- ウジャマー主義
- 国家による経済統制は官僚主義と非効率を生み出す



真正主義と社会主義への理解

- ザイールのモブツ大統領が提唱
- 文化面では地名・人名をザイール風にする
- 革命服の着用、産業の国有化
- チャドやトーゴに真正主義が輸出
- アフリカは周辺に位置づけられており、中心に存在するヨーロッパから切り離されなければ、発展できない(従属論)
- その実態は独裁を正当化するイデオロギーに過ぎず



多極共存型民主主義論によるアフリカ理解

- 社会的同質性を必要としない
- 異なるグループ間の連合と協調が民主主義を可能にする
- ナイジェリアにおいて可能性があった？
 - 北部イスラム教徒と南部キリスト教徒の間で建国過程をめぐり対立・・・北部が主導権を握り、南部を差別
 - 石油の発見がさらに問題を複雑に
- アフリカ政治を包括する議論にならず

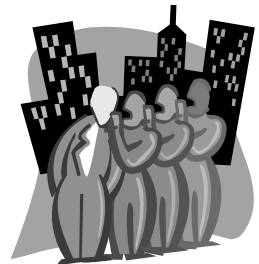
アフリカの民主化

- 40近い国において一党制や軍事政権が崩壊し、複数政党制へ移行した
- しかし政党制は形骸化し、権威主義体制へ回帰する
- 政党は部族・宗教・地域を軸に形成・・・有権者は自分の部族・宗教・地域に沿った政党や候補者に投票する



アフリカ市民社会論

- 国家に対する失望
 - 国家は支配する人物とその取り巻きを豊かにする道具に過ぎない
- 市民社会への期待？
- 暴走する国家に対抗し、監視する市民社会
 - 国家ぐるみの犯罪
 - 麻薬・詐欺・エイズの蔓延
- 「下からの政治」
- あるいはクライエントリズム



アフリカの紛争

- コンゴ動乱
- ピアフラ紛争
- オガデン紛争
- 西サハラ独立紛争
- 紛争の大衆化
- エスニック・シンボルの操作



ルワンダ紛争(1994年～)

- RPFとハビヤリマナ前政権の政治家による扇動
- ツチ人とフツ人のエスニック紛争
- 50～100万人の犠牲者
- 200万人の難民
- 2003年総選挙でツチ人のポール・カガメ(RPF)が大統領に再選
- RPF党が軍・警察・官僚機構・司法・銀行・大学・国営企業などの重要機関を独占している



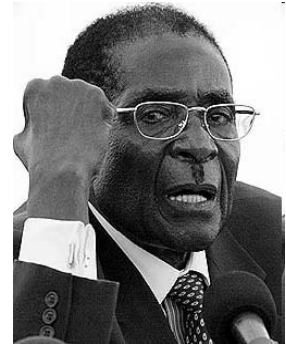
リベリア紛争

- アメリカ系黒人による支配構造
- 国民愛国戦線が優攻して紛争へ
- ECOWAS停戦監視団が介入
- 監視団が紛争当事者に
- 1997年に国民愛国戦線の指導者テーラーが大統領に
- 2003年に第二次内戦が勃発し、テーラー大統領は亡命
- 2005年にエレン・ジョンソン・サーリーフが初の女性大統領として就任



ジンバブエ政治

- 豊かな農業国家だったローデシアは1980年にジンバブエとして独立した
- 現在、国民の多くは独立当時よりも貧しく、平均余命は10年以上短くなった
- 社会主義経済を導入し、官僚主義と貧困をばびこらせる
- 2000年、ムガベ大統領は白人農場主の土地を無保証で接収し、貧しい国民に分け与える政策を発表
- 農業生産性は急落し、経済が崩壊した



アフリカはなぜ貧困から抜け出せないのか？

- 最大の理由は政府が統治機構として機能していないから
- 自由な経済活動にはさまざまな制度やネットワークが必要である
 - 法律による所有権の保証
 - モノとカネの取引を円滑にする信用・市場システム
 - 融資・投資の障害を除去し、円滑にする金融システム
- 一例としての家の建築
 - アフリカでは全て自分の手でやらねばならない

累積債務問題と開発援助

- アフリカ諸国は真の独立を達成するために、帝国主義と植民地主義の打倒を掲げて、主要産業を国有化した
- 輸入代替工業化政策の採用と挫折
- 従属理論に基づく開発政策の正当化…先進諸国および国際金融機関との対立
- 構造調整計画を受け入れざるをえなくなる
- 肥大化した国営企業や政府機関には政治指導者の支持者がポストを占めているため、構造調整を行うことができない…非効率で無能な機関が温存される